

“印刷からとびだす印刷展”

印刷技術の確かな価値

JP 2020

ICTと印刷展

2020

6.3 (水) - 6.4 (木)

10:00 ~ 17:00 / 9:30 ~ 16:00

この流れの先にあるものは

インテックス大阪5号館

大阪市住之江区南港北 1-5-102

【主催】JP産業展協会

【後援】大阪府 / 大阪市 / 大阪商工会議所 / 大阪府中小企業団体中央会 / 全日本印刷工業組合連合会
/ 日本製紙連合会 / 日本洋紙板紙卸商業組合 / 公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会 (以上予定)

【協力】公益社団法人日本印刷技術協会 / 大阪印刷関連団体協議会 / 販促AR推進機構 / 大阪府ものづくり振興協会
/ 印刷センチュリークラブ / 水性フレキソ促進協議会 / 販促アイデア協議会 (以上予定)

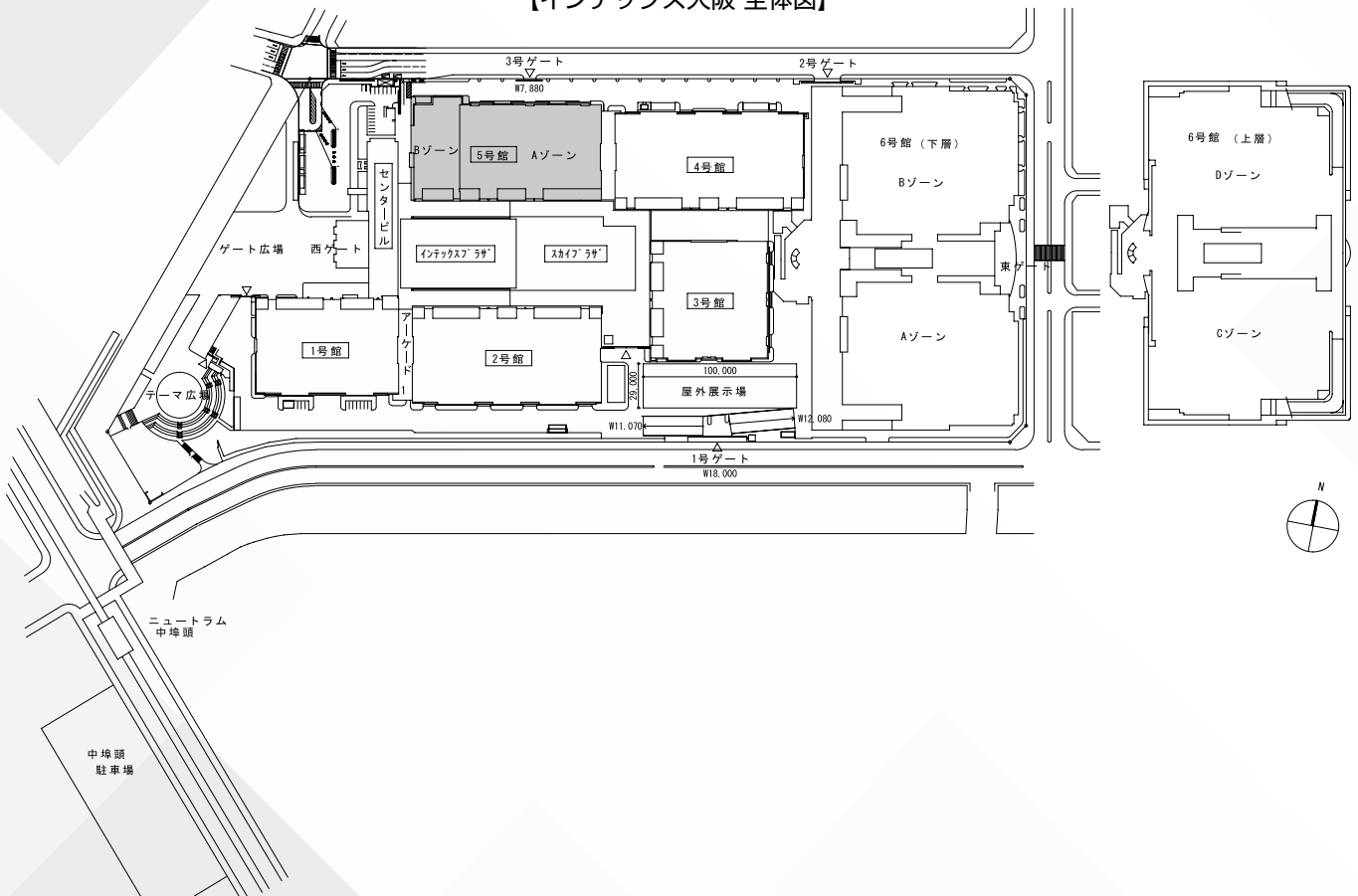
JP産業展協会事務局 (印刷タイムズ(株)内)

〒530-0054 大阪市北区南森町 1-1-26 TEL:06 (6311) 0281
〒101-0052 東京都千代田区小川町 1-8-6 TEL:03 (5256) 0591

開催概要

- 名称 JP2020・ICTと印刷展
- 会期 2020年6月3日(水)・6月4日(木)
6月3日(水) 午前10時～午後5時
6月4日(木) 午前9時30分～午後4時
- テーマ 印刷から飛び出す印刷展
「この流れの先にあるものは」
- 会場 インテックス大阪5号館(大阪市住之江区南港北1-5-102)
- 主催 JP産業展協会
- 後援 大阪府／大阪市／大阪商工会議所／大阪府中小企業団体中央会／全日本印刷工業組合連合会／日本製紙連合会／日本洋紙板紙卸商業組合／公益社団法人日本グラフィックデザイナー協会(以上予定)
- 協力 公益社団法人日本印刷技術協会／大阪印刷関連団体協議会／販促AR推進機構／大阪府ものづく振興協会／水性フレキシコンソーシウム設立を考える会／販促アイデア協議会(以上予定)

【インテックス大阪 全体図】



印刷から飛び出す印刷展

「この流れの先にあるものは」

JP展が設定するプリプレス工程以前のFrontが持つ機能

企業の証明

モノづくりとしての印刷企業には企画・デザインがあります。その根底としてアイデアから始まるアイデア、プロデュース力が求められています。これをどのような形で成果物につなげるのかを証明することが需要獲得のカギになります。それは企業の社会的責任でもあり、結果としての信用力につながります。

印刷物として、どのような製品を作るのか、どのような技術を持っているのか。この課題に対しては、JP展から派生誕生した「販促アイデア協議会」の協力を得て「販促アイデアエリア」を設置して、参加各企業の活動実例でヒントを提供していきます。

需要の創出

作業効率や自動化を進めるにしても、生産力を生かす仕事量が確保されていなければ先に進みません。需要創出という合言葉だけでは疑問が残ります。小ロット・多品種・効率生産を目指す前提に浮上するこの課題を解決するために、どのような仕組みをつくるのか。JP展に足を運ぶ来場者の最大の目的がここにあると考えています。

「販促アイデアエリア」で示されるアイデア製品と併せて、効率生産を前提とするケースでは、デジタル印刷機メーカーが展示する事例サンプルや、デジタル加飾機器による技術アイデア製品に道を求めることができると思われます。

また展示機器として出展することはできませんが、先進企業が取り組むOEM事業の例を紹介することで、お客様が求める需要構造を変革する動きがすでに誕生していることを紹介していきます。

需要獲得のためのフローづくり

「モノづくりとコトづくり」。業界の中では簡単に表現されて使われていますが、「コトづくり」に定形された方程式は示されていません。種まきから収穫まで時間がかかることもその理由のひとつでしょう。クライアントの要望や困りごとに対する直観力や調査・分析・発見と具体化に向けた社内体制の整備など、長期的な取り組みが必要になるからだと考えます。しかし、その成果は大きな市場を獲得することに結び付いています。

スマートファクトリー構想を目指す企業は、それぞれの需要獲得策の仕組みを完成させた企業が、その生産ラインとして構築していくといえるでしょう。

言い換えれば、どのような設備を考えるにしても、「その前に需要構造の確立あり」が前提になるといえるでしょう。さらに言い換えれば、自動化の前にその自動化ラインに適應する仕事が用意されているかどうかにかかっているともしえるのではないのでしょうか。

設備の組立

設備を導入するためには資金的にも人的にも、それに見合う仕事の質が求められます。失敗しないもっと効率的な設備を選択するためにもFront以前の需要創出策を十分に考えることが必要になります。この営業力と設備力は、デジタル機器という得体的しれない能力と、知恵と知識と情熱という人間力の等価交換であることも確かです。人口減少による人手不足が問われる中で、人手を設備に転化していかなければならない時代の中にいます。企業の継続発展のために設備の効率化が必要になる、その一方で効率運用のためには仕事量の確保が必要にもなる。こうしたトレードオフの状況は、どんな場合でも付きまといまいます。突破口を見つけるのは、何時の場合でも人の意欲と設備力の調和にあるといえるのではないのでしょうか。

矛盾課題からの脱出

JP展は、スマートファクトリーの構想を提示するわけではありません。できる所からの自動化は必須条件だとしながらも、着実に自動化のステップを積み重ねられる道を探すことを目的としています。そのために一番手堅い方策として、Flont（経営や管理に当たる前線基地の意味を込めて）側から体制を固め、突破口となる適切な設備を見つけてもらうことを目指していきます。

「JP2020・ICTと印刷展」会場を構成する展示分類

■設備設計 オフセット印刷機、デジタル印刷機、後加工自動化機器、製本関連機器、各種サンプル製品の展示、シール・ラベル印刷機、パッケージ印刷機、特殊小型機器、デジタル加飾機、大判インクジェットプリンタ、デジタルマーケティングツール)

■ワークフロー統合機材システム展

■販促アイデア印刷展

【特別展示】

■スクリーン・デジタル印刷展

■屋外広告装飾展

■AR・VR広告印刷展

■セミナー 出展企業特別セミナーの開催

■事前催事 8月8日 「第3回販促アイデア協議会定例会」(太閤園)

11月 「第4回販促アイデア協議会定例会」

2020年2月 「第5回販促アイデア協議会定例会」

2020年開催 「プレJP」(開催日は未定)

出 展 規 定

出展小間料金

1小間 194,400円(税込)
間口3.0m×奥行3.0m×壁高2.7m
(出展小間料金には基礎装飾・電気工事費用は
含みません)。

出展申込先

JP産業展協会事務局(印刷タイムス株式会社内)
〒530-0054 大阪市北区南森町1-1-26
TEL:06(6311)0281
FAX:06(6311)0288

出展申込締切日

【第1次】2019年11月12日(火)
【第2次】2019年12月12日(木)
お申込み件数が予定小間に達し次第締切りとさ
せて頂きます。

出展契約の成立、契約成立後の変更 または取り消し

主催者が「出展申込書」を受理した日をもって、
出展契約の成立とさせていただきます。契約成立後
の出展の変更および取り消しはできません。出
展取り消しの場合は、下記のキャンセル料を申
し受けます。

申込締切日～開催31日前まで…出展小間料金の50%
開催30日前～開催日当日…出展小間料金の全額

搬入出期間

【搬入日】
2020年5月31日(日) 午後1時～午後5時
2020年6月1日(月) 午前9時～午後5時
2020年6月2日(火) 午前9時～午後5時
【搬出日】
2020年6月4日(木) 午後4時～午後8時

※2019年7月現在の予定であり、出展内容に
よって変更となる場合があります。出展社説
明会で詳細は発表します。

小間の割り当て

主催者は出展社の業種、出展物の種別・形状・
会場の構成などを勘案のうえ、小間の割り当て
を行い出展社に連絡致します。割り当てられた
小間の一部または全部を事務局の承認なしに譲
渡または貸与することはできません。主催者は
入場者整理の都合上、または展示効果向上のた
めに小間図面を変更し、それに関して小間を再
配置する権利を有します。その際、出展申込者
は、小間位置の変更に対する賠償責任はできな
いものとします。

実 演

出品物の実演などは自由ですが、はなはだしい
音響・発煙・臭気を伴うもの、または危険と認
められるものは実演の中止をお願いすることが
あります。説明員によるマイクでの説明は、他
の出展社の迷惑とならないよう音響を調整頂く
か、専用イヤホーンを使用下さい。

管理保全

主催者は、出展物の管理・保全について、警備
員を配置するなどの事故防止に最善の注意を払
いますが、あらゆる原因から生ずる損失または
損害についてその責任を負わないものとします。

展示会の中止

主催者は、展示会が開催される土地建物が入場
に不適當となった場合、または不当な不可抗力
原因により開催が妨害された場合は、その自身
の判断によって会期を変更、もしくは開催を中
止することがあります。主催者は、これによっ

て生ずる損害、費用の増加、その他事態については責任を負わないものとします。

法令・規約の順守

出展申込者は、日本国内の各種法令を順守するとともに、主催者が定める一連の規約（出展申込書、出展マニュアルなど）を本契約の一部とし、これを順守することに同意するものとします。万が一、法令・規約に違反した場合、主催者は、展示会来場者の安全性を確保する観点から、理由の如何に関わらず出展を拒否もしくは取り消すことがあります。この際生ずる損害などに対し、主催者は一切の責任を負わないものとします。

出展社説明会

出展社説明会は、2020年3月に大阪地区で開催します。なお、会場・日時については追って各出展社に直接連絡致します。

小間装飾

出展小間料とは別に施工費（社名板・バックパネル分）を頂きます。基礎装飾はシステムパネルで制作しますが、サイズ仕様および色については出展社説明会でお知らせします。出展社が独自で特別装飾をする場合は、事務局に届け出て適宜施工して下さい。ただし、すべての使用材料は必ず不燃物のものを使用し、他の出展社の迷惑や混雑防止に十分留意して下さい。出展小間内に天井を設置する場合は、必ず煙探知機を設置し、消防署の許可を受けることが必要です。また、危険物（出品商品を含む）に関しても、事前に申請する必要があります。

電気設備および幹線工事費

電気工事申込書は、指定の期日までに必ず提出して下さい。申込みのない場合、工事は不可能ですし、期限後の申込みについては特別料金を申し受けることがあります。供給電気

方式は①交流単相100V60ヘルツ②交流単相200V60ヘルツ③交流三相200V60ヘルツとなります。

上記以外の特種電圧は供給できませんのでご注意下さい。特別電源を使用する場合は電圧調整器および周波数変換機を必ずご持参下さい。蛍光灯、高圧水銀灯は定格定量の50%増として計算します。電気の幹線工事費（電気使用料金含む）は会期中を通じて、単相、三相とも1kw＝7,560円（税込）で計算します。

水道およびダクト

給水・排水工事を必要とする出展社は主催者が指定する業者に申請して下さい。工事はあらかじめ見積もらせたうえで着手します。なお、工事に必要な経費は全額出展社の負担となります。会期中の水道使用量は別途料金を請求します。

通信インフラ

詳細は出展社説明会で発表します。

申込み手続きが必要な事項

下記の各事項を必要とする出品社は必ず提出をして下さい（申込用紙の配布と内容説明については出展社説明会にて行います）。水道配管工事申込、特別装飾業者登録申請書、電気申込書（全出展社）、床工事施工届出書、危険物（油類）持込届出書、搬入出希望日時申込書（全出展社）、電話回線申込書語

「JP2020・ICTと印刷展」主催団体

大阪府印刷工業組合、大阪府グラフィックサービス協同組合、大阪府製本工業組合、近畿グラフィックコミュニケーションズ工業組合、近畿印刷産業機材協同組合、近畿印刷工業会
(順不同)

お問い合わせ・出展申込先

JP産業展協会事務局

〒530-0054 大阪市北区南森町1-1-26

〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-8-6

印刷タイムス株式会社内

TEL.06(6311)0281

TEL.03(5256)0591